夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 吉田甫

鈴木喜政氏表彰
県体席上 体育功労者として

県教委では三日午後二時定例会の席上、本年度体育功労者として県陸上競技協会長内郷町歯科医師鈴木喜政氏ら四名の表彰を決定した、廿八日福島市信夫ケ丘競技場で開催される第六回県体育大会開会式の席上、表彰伝達が行われる、栄ある表彰を受ける鈴木喜政陸協会長は、日本歯科医卒石城地区は勿論県下の陸上競技の進展につとめ、昨年平地区で開らかれた第五回県体育大会には自ら率先してこの設営に当つた外昨年の第七回国体には本県選手の陸上責任者として活躍し、本県陸上の振興に日夜献身努力している功が報いられたもの、（写真は表彰される鈴木会長）

割烹 さなだ 桜小路電四三六

アプレ青年は嫌い
内郷女子青年郊外指導

内郷町公民館主催の町内女子青年郊外指導は二日久の浜波立薬師堂に約六十名が参加して開かれ、「現代女子青年修養について」と題する赤同士館主事の講演の後、パネルデスカツションに入り先づテーマーとして◎「現代青年に何を望むか」について行つた結果
▼アプレ戦後派的な青年は嫌い
▼温古知新的な心掛けで日本歴史のよいふるさを身につけている青年を好む
▼青年はすべからず敢発に富んで希望をもち明朗な性質でありたい
◎「男女交際はどうあるべきか」
▼男女二人の交際は互に修養を要する
▼交際は結局結婚の道程であるから明るい世界で交際し秘密があつてはならない
▼社会人は純な男女交際を色メガネでみやしないか、このような現象にあるとすれば公民館として社会教育を施す必要がある
◎「嫁入り後しゆうとに対する所感」
▼女性の多くはしゆうとのない夫婦二人切りの生活を好む
▼しゆうとは新しい感覚がなく以前として封建的な考えのもとに立つてしゆうと中心主義をとつている、嫁に対しても新しい理解をもつてもらいたいなど活発な意見を交換した後屋内遊戯に入り「ゼスチア」、民踊、歌謡曲、スクエアダンス、俳句遊びを行い盛会裡に幕をとぢた

牧野設立会

石城地区牧野設立発起人会は八日午前十時から石城地方事務所で開く、これは牛馬牧野地の経営合理化と黒字経営の促進を図るため、いままでの町村別牧野協同組合をまとめて郡下の牧野協会にするもの

県連青陸上競技
石城平地区予選開催

県連青陸上競技大会石城地区予選は九日午前九時から市営競技場で平地区予選は磐女高グラウンドの各会場に約二千名が参加して開かれる

耳と目

猟奇雑誌のネタにはもつて来いの夏の実話一席……三日午後零時十分ころ平鉄道公安室に電話で「今平駅待合室公衆便所内で婦人の用便をのぞき見している男があります」と連絡があつた、同室では係官三名がそれ!!いまはやりの痴漢だとばかりにかけつけて見ると、二十四、五才と覚しき好男子が婦人便所のフシ穴をノゾいてニタリ、ニタリと笑いながら係官の注意も聞かばこそなかなかノゾきを止めないので、軽犯罪で検挙取調べたところ鹿島村大字走熊字宮下十一お百姓の小せがれで綿崎昭之君(三〇)と判つた、係官の話によると変態性欲者でもなく立派な農村青年だが映画帰りの興奮が覚めやらず、宵暑のモタエやる方なく駅待合室にしよんぼりしていたところ向側に坐つていた年頃の美人が便所に立かけたので、ついふらくと後を追つて彼女の用便をノゾいたと言う次第だが、ノゾかれた彼女はヨモ知る由もなかつたかどうかは聞きもらした

平泉の史跡を訪ねて（上）
鈴木光四郎

まえがき

職員研修旅行に十和田コースを選んだが、その途、七月二十二日、平泉の史跡を訪ねた、昭和二十五年八月に磐女郷土クラブ員と共に調査見学してから二度目であるが、その時のゆかしい思い出が平泉の史跡調査の気持を強めたのである。真夏の太陽をうけて月見坂より中尊寺本堂に向つた

奥の細道と平泉

俳人松尾ばしようは元禄二年（西一六八九年）四十六才の頃弟子曽良を伴ひ東北路に俳かいの旅をつづけたがその日記が有名な奥の細道である、細道には

三代の栄耀一睡の中にして、大門の跡は一里こなたにあり秀衡が跡は田野になりて金鶏山のみ形を残す。まづ高館に登れば、北上川南部より流るゝ大河なり。衣川は和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。泰衡等が旧跡は衣が関を隔てゝ南部口をさし堅め、夷を防ぐと見えたり。さても義臣すぐつてこの城に籠もり、功名一時のくさむらとなる。「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と、笠うち敷きて時のうつるまで涙を落しはべりぬ

夏草や兵どもが夢の跡

かねて耳驚かしたる二堂開帳す。経堂は三将の像を残し、光堂は三代の棺を納め、三尊の仏を安置す。七宝散りうせて、珠の扉風に破れ、金の柱霜雪に朽ちて、すでにこう廃空虚のくさむらとなるべきを四面新たに囲んで、かわらを覆ふて風雨をしのぐ。しばらく千歳の記念とはなれり

五月雨の降りのこしてや光堂

以上は有名な文章であるが、平泉の史跡はこの文に尽きると云つても過言ではない

藤原三代と平泉

初代清衡、二代基衡、三代秀衡、奥羽の富を掌中におさめた藤原氏は、院政初期から平家を滅亡にいたる百年間、奥州平泉に栄えたのである

藤原氏以前に奥羽地方を支配していたのは安倍、清原の一族であつたが、安倍氏は前九年の役（西一〇六二年）で源頼義に平定され、清原氏は後三年の役（西一〇八三年）で頼義の子、義家に鎮定された。源氏を助けた藤原氏は陸奥、出羽の押領使に任ぜられ、次いで鎮守府将軍として清衡が平泉に館を築いた嘉保元年（西一〇九四年）から四代泰衡が源義経を保護した理由によつて源頼朝に滅ぼされた文治五年まで奥羽諸国を百年間領有していたのが藤原三代である

初代清衡は自ら俘囚之上頭と称し、地方の一豪族に過ぎなかつた。彼は優れた人物で智力と財力とによつて奥羽地方を支配するようになつた。彼は京都の藤原氏とは無関係であるが財力によつて藤原氏を名乗つたのである。彼は砂金、馬、鷹、漆、米などを豊富に持ち北上川の交通路からそう国と交易をした彼は根拠地を平泉に移し富力にまかせて京都文化の移入につとめたのである

藤原三代には京都文化へのあこがれがあつた。勢力と富を得た藤原氏は東北の一隅に都をつくり、自ら京都の大貴族に匹敵する生活を考えたのである 比えい山、法勝寺、平等院などを模した荘麗な平泉諸寺が築かれたのである（続く）

寿しの みしま 電915

東京大相撲歓迎平夏場所

好取組懸賞

期日 八月五日
場所 平市営球場

横綱 羽黒山
大関 吉葉山 東京大相撲一行百二十名
【雨天順延】

寿し 玉寿し 平市銀座通り 575番

南国の香 コーピー たまはん 平市三田小路 TEL1407番

割烹 谷口 平 二 電 八 番

割烹 大貞 電 四 一 三

果して軍配は？

来る五日の東京大相撲興行当日時津山後援会が御来場の皆様方へ贈る特別第一番外取組として、立浪部屋幕下一門と地元オール常磐軍との対抗戦を企画致しました、付きまして本社にては市内各有志及有名店の御協力を得て勝力士に賞品を贈る外一般愛角家の好取組に対して懸賞を募集致す事になりました、何卒御後援の程お願申し上げますと共に当日地元軍に対する御声援をお待申し上げます

東 立浪軍 西 常磐軍

イ力士―藤原健之 贈勝者 加地和組賞
ロ力士―面川朝治 贈勝者 かみや賞
ハ力士―山野辺寛仁 贈勝者 藤森商会賞
ニ力士―伊賀川誠 贈勝者 本社賞
ホ力士―堀川政光 贈勝者 玉半賞
ヘ力士―永山孝雄 贈勝 本社々長賞
ト力士―須藤貞一 贈勝者 平製パン賞
チ力士―我妻谷五郎 贈勝者 平専門店会
リ力士―高岡一 贈勝者 松月堂賞
ヌ力士―吉田 贈勝者 鈴藤賞

問題 何対何にて〇〇軍の勝
用紙 官製ハガキ
締切 大相撲前日（消印又は本社持参のもの）
送先 平市田町七五 常毎相撲懸賞係へ
賞品 正解者拾名様 映画入場券進呈（御一名様五枚）に（多数の場合は抽選にて）
主催 常磐毎日新聞社
後援 時津山後援会

待望の東京大相撲
ファン熱狂の好取組

横綱羽黒山を筆頭に大関吉葉山から清水川、三根山、名寄岩、平市出身の優勝力士時津山など東京大相撲一行百二十名は予定通り四日夜前場所岩沼町から乗り込み、五日当日は午前五時半の花火を合図に開場される、優勝力士時津山は益々好調子で月余に近い北海道、東北各地の巡業にもめげず至る所で元気一ぱい妙技を発揮して、大いに人気を博しているとの朗報に早くも当日の好取組を予想していやが上にもファンを熱狂させ当日の盛況を待たれている

(写真は時津山関)

横綱羽黒の土俵入り
人氣集る時津関の取口

当日は、横綱羽黒山の土俵入り、幕内力士の土俵入りを始め、相撲甚句、弓取り式に加えて、時津山関えの後援会からの化粧廻し贈呈式

番外余興として、本社が懸賞募集をしている、常磐炭砿相撲部と立浪部屋中堅力士との一戦など豪華な内容に稀に見る盛会を予想されている

ガ然人氣湧く
本社主催相撲懸賞募集

本社が角道奨励の趣旨で発表した本相撲の力士さんと、常磐相撲部との対戦懸賞募集はガ然人気を呼び、四日午後は市内は勿論、湯本好間、小名浜、植田、久ノ浜など近郊各地から回答が寄せられ係員らが整理に大童わである

果して、常磐相撲部が幾つの勝ち星をとれるか、果して全敗に終るかファンをうならせている

締切は四日中に本人持参又は四日付消印のあるもの

建設青年隊募集

第二回県建設青年隊補導生募集打合会は九日午前十時から石城地方事務所で開く

野犬狩を実施

平保健所は次の日程で管内全地域にわたり野犬狩を実施する、昨年の野犬狩で撲殺されたのは三百頭だつた、同所推定による管内の野犬は五百頭、未登録犬は千頭と予想されているので未登録犬は早急に登録するよう望んでいる

なお野犬狩で保護した犬は一週間と殺場に繋留しておき、もらい受けがない限り撲殺する

▽四日―七日江名▽五日―七日好間、永戸箕輪▽五日―十二日湯本▽七日―十二日草野▽十四日―十九日大野▽十七日―二十[illegible]磐崎▽二十八日―三十一日鹿島▽三十一日―一日高久▽十二日―十四日三阪沢渡▽十三日―二十七日小名浜▽二十八日―一日豊間

湯本商工会
旧盆大出し協議

湯本町商工会では五日午後一時から同町公民館で役員会を開き、旧盆売出し、七夕祭、労働基準法説明会開催などについて協議する

内町部落館
五日郊外指導

内郷町内町第一部落館(主任菅野光蔵)では部落民約二百名が参加して五日沼の内海岸に郊外指導を行う

湿田単作打合会

浜通り海岸砂地区の湿田単作打合会は七日午前十時から石城地方事務所で開く

内郷保育打合

内郷町では来る七、八日の両日福島市で行われる保育所事務打合会の下打合せを四日午後三時半から役場会議室で開き 国県資負担金基礎資料作成について協議する

跨線橋名称を懸賞募集する

(既報)平駅前跨線橋の橋名は懸賞付で一般募集することになつた

◎賞金▼一等三千円(一名)▼佳作一千円(三名)

◎申込方法は官製はがき一人一枚一題のこと

◎締切は八月六日(六日消印あるもの)

◎申込先は平市役所土木課

◎選衡は平跨線橋特別委員会と地元新聞社代表

なお既に本社の方に橋名を応募されたものは、本社から市土木課に届けます

磐崎自由労組
夏季手当決る

磐崎村自由労組ではこのほど大田原村長と面会、夏期手当三千円要求をめぐつて交渉を行つた結果、夏[illegible]四百円、海水浴手当百円、家族手当百円計六百円を村当局で支給することで妥結 県支給額四百円と合せ千円のお盆手当が支給されることになり郡下で平市に次いで円満解決となつたもの

"熊君"むくれる
ひつかゝれて子供裂傷

平市三十米大通り三幸デパートの熊公はなかなかのきかん坊で、さきにもオリを飛び出して大騒ぎさせたが、こんどは四日早朝に見物中の坊やにいどみ掛り大けがをさせた……

四日午前九時ころ内郷町大字御厩字上地区採炭夫渡部武信さん四男久毅ちやん(六つ)はお母ちやんに連れられ三幸デパート屋上の小動物園を見物中、久毅ちやんが熊のいる手すりの中に入つた為熊公自分の楽園を[illegible]されると思つたのか猛然と子供におそいかゝり、久毅ちやんの右大たい部右中指に全治二週間の傷を負せた

久毅ちやんは係の人が早く発見すぐ助け出され市内安斎病院に担ぎ込まれた

湯本消防団
ポンプを購入

湯本町ではこのほど予算二百三十万円で東京都森田ポンプ会社から手引の日産自動車ポンプを購入したので四日午前十時から磐崎村上湯長谷字長倉地内の貯水池で試運転を行つた

何処にいるのか?
寿子さん家出

平市久保町七高石孝子さんは三日夜平市署をおとずれ妹寿子さん(一二)平第一小学校六年生が家出したから捜してほしいと願い出た、寿子さんは同日午後三時ころまで家にいたがいつのまにかいなくなつたと語つている

十万九千円
内郷の義損金

同胞を救えと内郷町では西日本地方の水害罹災者に送る見舞金品を去る七月七日から一ケ月間、町民に応分の寄託を呼びかけておつたが、四日現在で一応打切つた、これに呼応した愛の手義損金は総額十万九千円で、見舞品は町内各種団体から二十キロ包み七十二個、個人扱い七十二個となり関係当局を感激せしめている

湯本に疑似赤痢

湯本町天神町四二採炭夫猪狩敏氏の次男文俊ちやん(六つ)は三日疑似赤痢と判り隔離した

昨夜の火事騒ぎ

四日午後九時半ころ、平市二丁目旅館業大村屋大村一郎さん(五二)方で煙突掃除作業中、煙が一度に逆流して燃料口から出たゝめ消防署では火事と見て現場にかけつけたがなに事もなかつた、ポンプ車の出動に一時は大混雑を極めた

木造アパート完成
五日に入居者選考会開く

去る四月工費二百八十万円で市内高月台磐高前に着工された市営木造アパートはこのほど完成したので五日午後一時から入居者選考会を開催、入居者七世帯の選考方法を決める

同アパートは木造二階建の収容世帯数は十戸だが、うち三戸分は引揚者用となる。なお屋賃は五百円台と見られる

磐崎に赤痢発生

磐崎村大字上湯長谷字梅ケ平七六会社員佐藤鋭太郎さん三男修ちやん(三つ)は疑似赤痢と判り隔離した

市土木委員会

平市土木委員会は四日午後一時から市役所委員会室で開催、来る十四日挙行する駅前跨線橋の落成式の件その他について協議した

アゴチン五千本押収

小名浜地区署では三日午後三時ころ小名浜町栄町九無職山田スミさん(三三)が泉駅止りで東京からおくられて来た覚せい剤らしい荷物を受取つたとの聞込みをえて午後六時ころ山田さん宅を急襲ネオアゴチン二CC入れ 四千四百五十本時価五万円相当を押収するとともに、山田スミを覚せい剤違反容疑で逮捕した

仲裁人を殴る

平地区署では三日好間村大字上好間字上ノ原無職同井金吉(三九)を傷害容疑で逮捕した

同井は三日午後七時ころ同字飲食「しいな」で飲酒中、かたわらで飲んでいた上好間常田鉱高原桐吉さん(三八)とさゝいなことから喧嘩となり仲裁に入つた北好間崖掛川原屋渡辺満さん(三八)を持つていた木片で頭部を殴打全治二十日間の裂傷を負せたもの

農共技術員
窃盗容疑で挙る

平地区署四倉警部派出所では三日正午ころ草野村大字馬目字宮下磐城農業共済組合技術員宇佐見彦一(二二)を窃盗容疑で検挙した

宇佐見は昨年十月ころから現在までに同組合の宿直を利用して組合の売上代金を十数回に渡り約一万六千円を窃取、更に同僚の服のポケットなどから数回に亘つて現金などを抜き取つていた疑いで、更に余罪追求中

湯本教養部会

湯本町公民館教養部会は五日午後六時半から同館で開き、青年学級開設の報告、青年学級の役員披露青年学級のレクリエーシヨンについて協議する

トラックにはねられて
小野建設の女事務員が死亡

三日午後三時ころ内郷町綴本通り常磐交通綴駅前待合場前の国道上で内郷町綴秋山小野建設KK事務員同町白水字川平六七吉田節子さん(一八)は平行バスに乗るため綴タクシー車庫内から飛び出したところ湯本方面から疾走して来た日本専売公社郡山地方局橋本国典さん(三四)の運転するトラックのバンパーにふれ仰向けに転倒、頭がい骨々折で同字高萩病院に入院手当したが同日午後五ころ死亡した

暴行容疑で検挙

平地区署四倉警部派出所では三日愛知県春日井郡森山町生れ住所不定ゴムひも行商駒田貞男(三二)を暴行、強かつ現行犯で検挙した

駒田は同日午前十時半ころ大浦村細谷農小林徳太郎(七四)さん方に処りゴムひもを買いと強要、ことわられるや、土足で上りこみ小林さんを殴りつけ無理矢理買わせたもの

天気予報

明日北東の風朝のうちくもりにわか雨のところもあるがのちはれ
海上―沖合はうねりが高い
間が多くなる

寿司は花長

★平駅前跨線人道橋々名懸賞募集★

市民待望の駅前跨線人道橋も近く竣功致しますのでこの橋の名称を広く一般より懸賞募集致しますから奮つて応募下さい

記

一、懸賞募集題 平駅前跨線人道橋の名称
二、賞金 壱等 三千円 一名 佳作 一千円 三名
三、申込方法 官製はがきで一人一枚一題のこと
四、締切日 八月六日
五、申込先 平市役所土木課
六、選衡方法 平跨線橋特別委員会に於て詮衡し当選者を決定通知する

平市役所

巧妙な犯罪を續ける麻薬ギヤングを追つて水陸呼応の一大撃滅戦!! 素顔を見せぬ玄海の「ワニ」とは誰か?

玄海の鰐

河津清三郎 大友柳太郎 伊豆肇
日高澄子 星美智子 菅井一郎

アチヤコ青春手帳
第4話 めでたく結婚の巻
エライ事になりにけりやアチヤコ運転手が密輪団を検挙して新婚旅行へ!!

5日―11日 民劇

映画は大映

花の喧嘩状
長谷川 山根 山本 坂東

やくざ作法の喧嘩状、手向けの牡丹の花が散る!

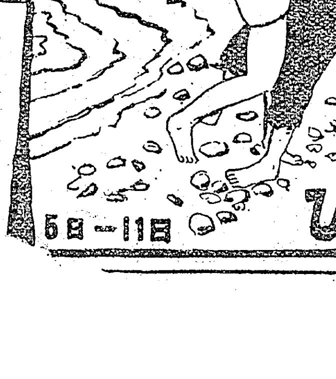
さつそう上原謙のギヤング
美貌の顔役
三条美記 潮万太郎

花形歌手 七ツの歌

5日―11日 世界館

お母さんの結婚
二本柳寛 坪内美子 加島春美 小林すみ子 藤原釜足
甘くそして悲しく懐しき少年の日よ

東宝

思春期 續
何を思い何を悩むのか、こみ上げてくるような胸の鼓動は彼等に何を教へた!
思春期スター 青山京子 江原達治 久保明

5日―11日 ひかり座